

「坂の上の雲」のまち
再生計画

平成16年6月

「坂の上の雲」のまちづくり

21世紀の地方の発展・自立は、都市の個性と魅力で勝負



道後温泉・松山城だけでなく誇れる有形・無形の資源を活用

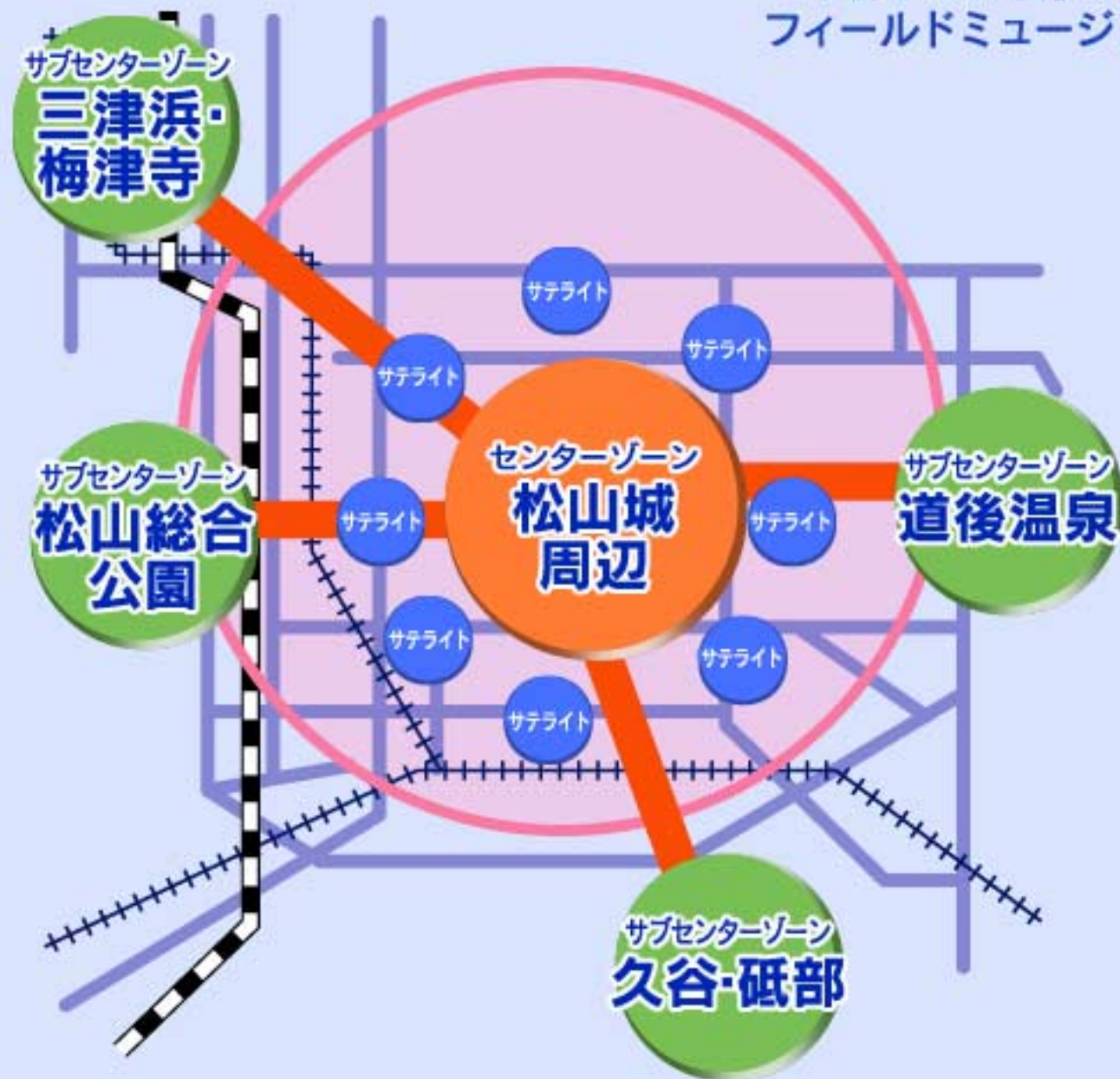


松山出身の3人を主人公とした小説「坂の上の雲」に着目
〈正岡子規、秋山好古、真之兄弟〉

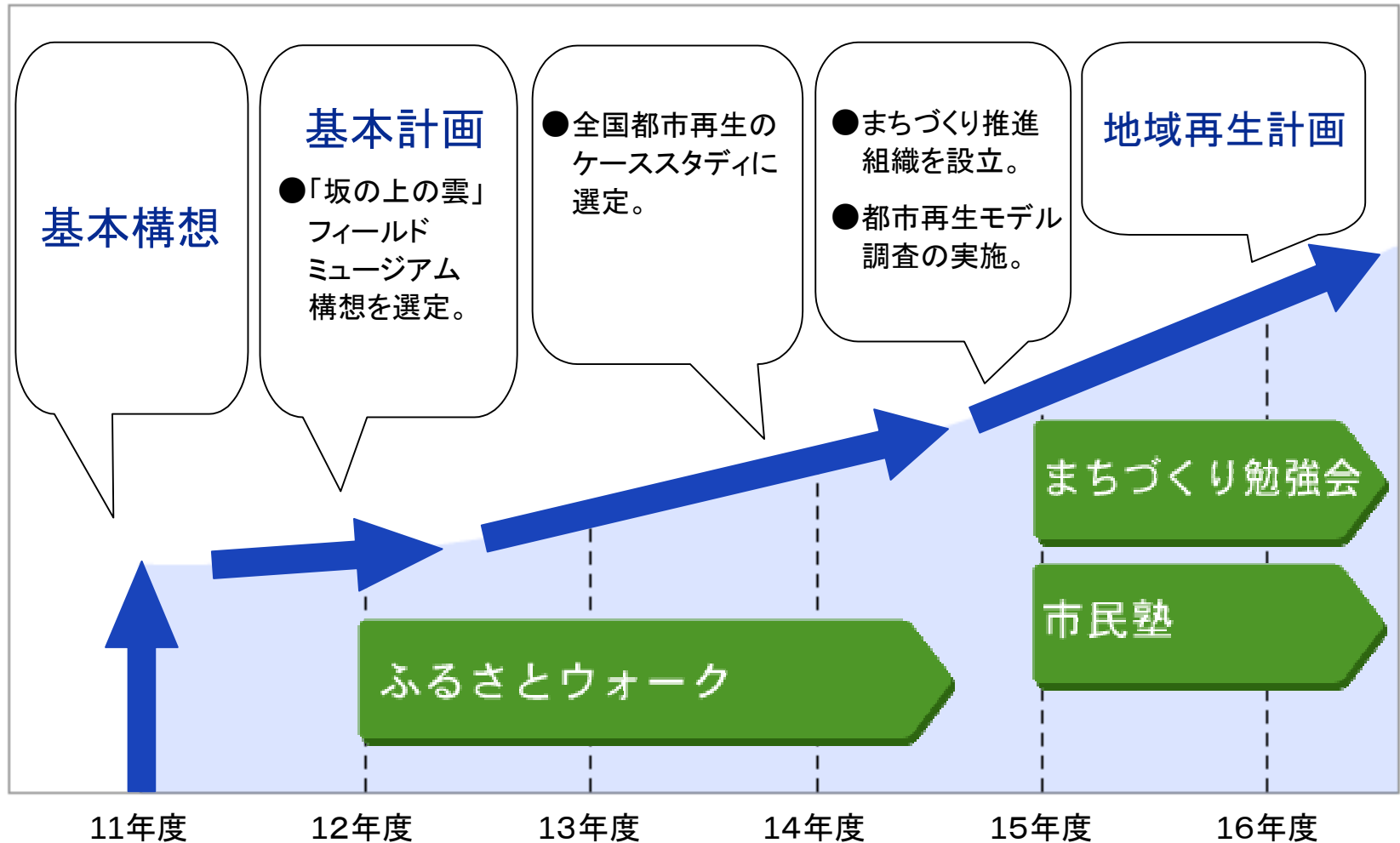


「坂の上の雲」フィールドミュージアム構想

「坂の上の雲」のまちづくり
フィールドミュージアム概念図



「坂の上の雲」の まちづくりの取り組み



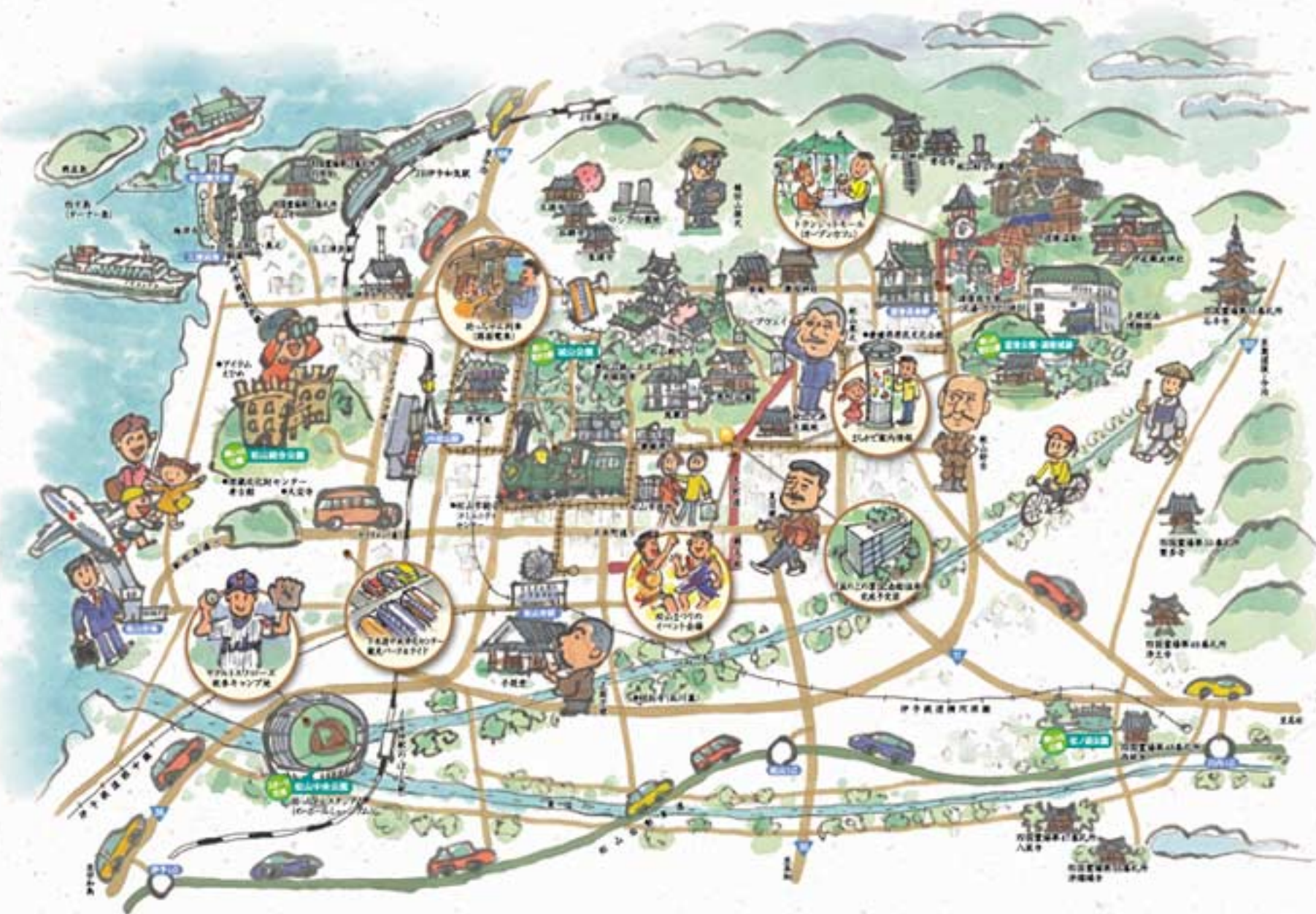
An aerial photograph of a city, likely Osaka, Japan, featuring a prominent green hill in the center. The city is densely packed with buildings, and the surrounding area shows more urban development and distant mountains under a clear blue sky.

「坂の上の雲」のまち

地域経済の

地域経済の

活性化と創造



『坂の上の雲』のまち 再生計画が目指すもの

外部資本の流入促進

① ビジネス交流の促進

② 企業誘致の促進

③ スポーツ交流の促進

④ 観光振興の推進 等

目標指標

都市の交流人口の拡大

平成15年
約500万人
(市の人口約47万人)



平成19年
約600万人
(市の人口約52万人)

計画期間内の波及効果

経済効果
約1,040億円

誘発雇用者数
約10,000人

「坂の上の雲」のまち 再生計画の取り組み



回遊観光交通システム構築事業の実施



「坂の上の雲」のまち 再生計画の主な取り組み



中央浄化センター



坊っちゃん列車



回遊観光バス

市内を円滑に回遊するための受け入れ策として、公共施設を有効活用した観光パークアンドライドの整備、外国人客の路線バス利用の促進など、公共交通の活用を図る。

魅力的な都市景観創出事業の実施



「坂の上の雲」のまち 再生計画の主な取り組み



ブロードバンド網



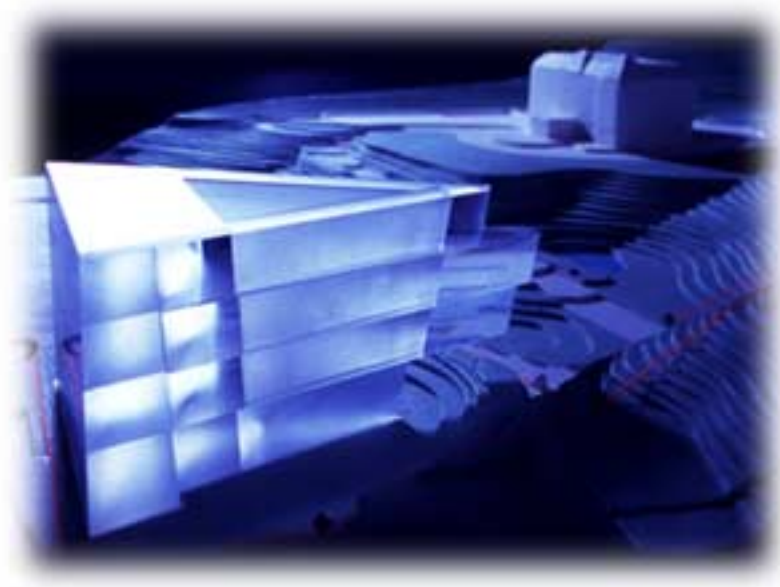
広告空間施設

屋外広告物の統一や規制誘導の強化と合わせ、道路内に広告空間施設の設置を図り、まちの賑わい創出と良好な景観を創出。
(平成16年4月ITビジネスモデル地区指定)

「坂の上の雲」の地域資源の活用・整備



「坂の上の雲」のまち 再生計画の主な取り組み



坂の上の雲記念館(仮称)〈設計:安藤忠雄氏〉



トランジットモール

地域に点在する有形無形の資源の有効利用を図るため、まちづくり
交付金やみちづくり交付金による個性あるまちづくりを実施。

スポーツ振興による交流促進



「坂の上の雲」のまち 再生計画の主な取り組み



松山中央公園



坊っちゃんスタジアム

「坊っちゃんスタジアム」などのスポーツ施設へのアクセスの向上を図り、スポーツ交流人口の拡大やスポーツ関連産業の誘致を目指す。

道後寄席



日本のことばが息づくまち

